



- Sustainable Week 紹介・開催に至るプロセス -

立命館大学 Sustainable Week 実行委員会 上田 隼也

We are SDGs leaders,



学生主催による SDGs 体験型イベント

Sustainable Week

2018 10/14 (Sun) - 16 (Tue)

場所 立命館大学びわこ・くさつキャンパス

主催 立命館大学 Sustainable Week 実行委員会

協賛

花王株式会社 / 株式会社滋賀銀行 / 草津市国際交流協会 (KIFA)

後援

滋賀県 / 大津市 / 草津市 / 滋賀経済同友会 / たねやグループ /
マスク・D・フリッツ / 立命館地球環境委員会 /
立命館サステナビリティ学術センター /
関西 SDGs プラットフォーム (申請中)

一般参加団体

SDGs Global Youth Innovators / アイセック滋賀大学委員会
NPO 法人 クローバルな学びのコミュニティ・習字フェロেশップ 滋賀キャンパ

参加団体

ライフサイエンス研究会 / 学生農業団体 ORGANIC/FB+1 / ロボット技術研究会 (RRST)/SOIL&SOUL/
STEP-Science & Technology English Presentation-/ 立命館大学 AVA(Athlete Volunteer Association)/
HandWasher/ アカベラサークル Song-genics/ カラーガードサークル LUSTER/
BKC インキュベーター インターン生 28 期 /OECD 学生大使 立命館 / 看護工学研究会 /
Why Japanese People/All In One Laboratory/Topas/ 建築環境・設備系研究室 /
問題解決は SDGs を理解した後で実行委員会 /TaBiwa+R/Ritree(緑化プロジェクト)/
立命館大学国際平和ミュージアム /Ein Stück Projekt/Soda

©2018 年 9 月 7 日現在

<https://sustainableweek.org>



Sustainable Week

- SDGs17個に即した企画内容 -



 SUSTAINABLE WEEK 参加団体一覧

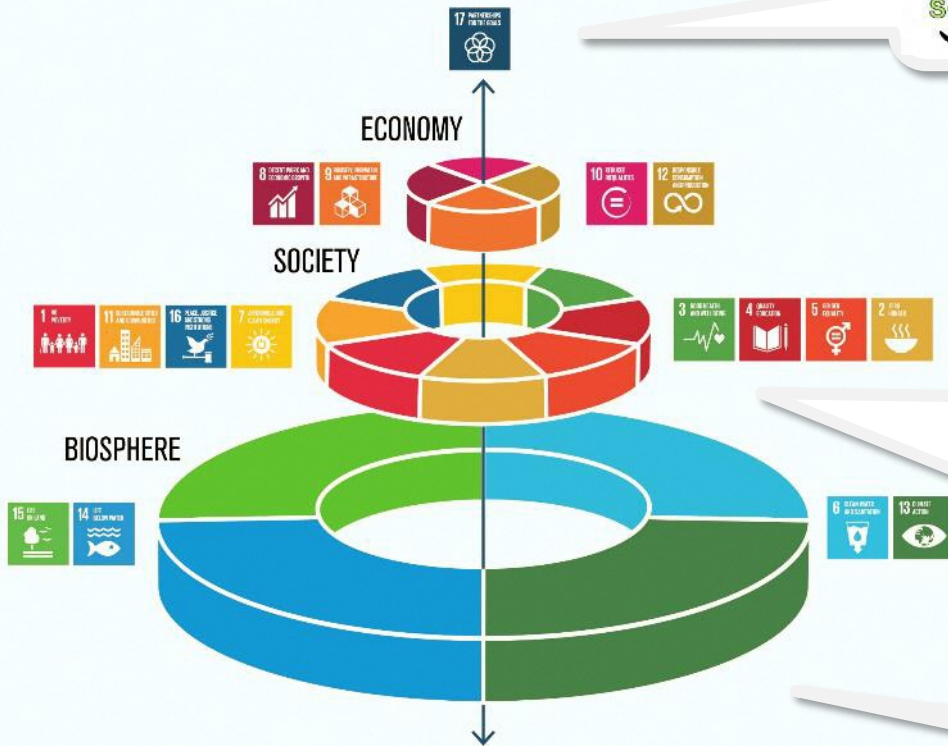
1 持続可能な社会を築く (SDG 1)		野菜料理
2 質の高い教育をみんなに (SDG 2)		原価0円カレー
3 健康と長寿をみんなに (SDG 3)		簡単エクササイズ
4 質の高い教育をみんなに (SDG 4)		気球搭乗体験 プラネタリウム
5 性別平等を実現する (SDG 5)		バルーンリリース
6 安全な水とトイレを世界中に (SDG 6)		水質研究セミナー
7 再生可能エネルギーを豊富に活用する (SDG 7)		再生可能 エネルギーライブ
8 働きがいも経済成長も (SDG 8)		起業家が人生を語る

9 産業と雇用を創出する (SDG 9)		ロボット操作体験 子ども技術・英語体験
10 人や国ごとの格差をなくす (SDG 10)		難民問題カフェ
11 持続可能な都市を創出する (SDG 11)		学生団体情報集約アプリ 防災体験
12 持続可能な消費と生産を実現する (SDG 12)		ゴミ箱アート
13 気候変動に具体的な対策を (SDG 13)		エネマネハウス展示
14 海の豊かさを守ろう (SDG 14)		外来魚料理 海ごみと海洋生物
15 陸の豊かさも守ろう (SDG 15)		原価0円カレー
16 平和と公正をすすめる (SDG 16)		世界報道写真展
17 パートナーシップを世界に広げる (SDG 17)		参加団体プレゼン交流

組織体制

- SDGsに合わせた組織づくり -

- SDGsのウェディングケーキ -



参加団体: 28団体
参加者: 約700名



環境学者 ヨハン・ロックストーム氏提唱

SDGs:17個のゴールを
「経済」、「社会」、「環境」の3階層に





キャンパス内に設置した大看板

4 質の高い教育を
みんなに



気球搭乗体験

5 ジェンダー平等を
実現しよう



バルーンリリース

3団体が協力して実施



有機栽培で育てた野菜を提供



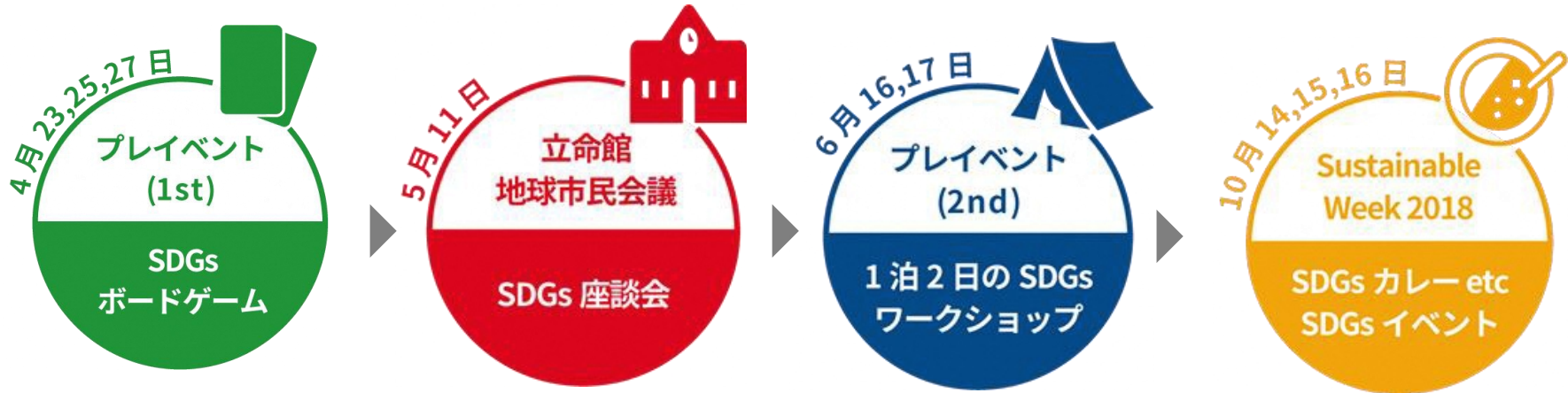
再利用可能な容器の提供



売れ残り野菜を用いたカレー作り

これまでの活動

- 2年目を迎えて -



SDGsを知る

SDGsを伝える

SDGsを考える

SDGsで発信する

Sustainable Week 2017を踏まえて、Sustainable Week 2018では、段階的にSDGsに関心がある学生を増やしなが、Sustainable Week 2018への企画立案を行った。また、立命館高校の高校生に対して、SDGsと自らの学びについての座談会を実施した。

身の回りの社会変化 - ルールかモデルか -



近年、地球規模の課題への取り組みSDGs(Sustainable Development Goals)に対し、欧米諸国は、企業や行政が中心となり取り組みを始めている。その流れに合わせ、立命館地球環境委員会や滋賀県も”**持続可能性**”に向けた取り組みに注力し始めた。